

学校だより



No.15

平成27年12月25日
尼崎市立尼崎養護学校

行事や授業に頑張った4ヶ月間

昨年この時期、校庭の気温は0℃を記録しました。そして空から白いものが舞い降りてきて、水たまりには薄い氷が張り、身を切るような冷たさを感じる日がありました。そうです、本格的な冬の到来でした。さて、今年は冬がやってきたと言いつつも、本格的な寒さを感じることもまだまだ少ないようです。バスから降りてくる児童生徒たち。寒さにじっと耐えている子やワーワーと声を上げて寒さに文句を言っている子。中には、この寒さOK!と寒さを満喫する(?)子、実に様々です。先ほどまでしーんと静まりかえっていた校舎内に、元気な声が響きわたります。活気ある一日の始まりです。

子どもたちは日々の生活で四季の移り変わりを感じ、その季節に応じた授業や行事を経験し、

学んでいます。

さて先日(12月21日)に中学部3年生の生徒との進学面接を実施しました。校長室での個人面接はやはり緊張したようで、普段笑顔の多い子どもが固まったまま、困っている様子も見られました。私はこの緊張感がとても大切だと感じています。進学するために、授業等であまり関わりのない人に質問され、自分の力で表現し、対応しなければならない。そんな時間を過ごしながら進学する決意や、節目の大切さを感じてくれると思っています。

明日より13日間の冬休みが始まります。あわただしい年の瀬、一夜明ければ新しい年がやってきます。笑顔で過ごせるようなすばらしい年にしたいですね。

すばらしい演奏をありがとう

朝方まで暴風警報が発令されていましたが、武庫川女子大附属中・高等学校の皆さんは予定通り来校し、体育館での交流会はスタートしました。

この交流会は2000年から始まりました。今年で16年目になります。

大勢の部員が奏でる音楽。音の迫力に驚きましたね。静かに、やさしく...そして力強く。その変化をみごとに表現してくれた演奏でした。プロの演奏ではなく、アマチュアです。それも、尼養の生徒と同じ中学・高校の生徒たちが集まって演奏しているのです。

「みんなで気持ちを合わせれば、こんな演奏ができる。」

「一人一人の力は小さくても、みんなで力を合わせれば、こんなに力強く、人を感動させる力になる。」そんなメッセージを伝えてくれたようでした。また、ボランティア部からも手作りフェルトカレンダーをいただきました。一文字一文字が丁寧に作られていて、心温まる作品です。さっそく、校長室前の廊下に飾りました

武庫川女子大附属中学校・高等学校との交流会

尼養の玄関で毎朝みんなを出迎えてくれるフェルトで作られたカレンダーも、16年前に贈られたものです。(途中で新しいカレンダーに変わっています。)

楽しいひとときを共に過ごすことができ、良い思い出となりました。

短い時間でしたが、そこに集まった人たちがみんなが温かい雰囲気を感じた交流会になりました。そのときの様子も校長室前に掲示していますので、来校の際にはご覧下さい。



信州 上田東高校より

一足早いクリスマスプレゼントが届きました

毎年この時期になると長野県上田東高校から届けられるリンゴ。大きくて、色鮮やかで、芳醇な甘い香りのするリンゴを家庭で味わっていただけましたか？



上田東高校の校長先生にお礼の電話をかけたところ、生徒会を中心とした取り組みが今もなお続いていることや、尼養から贈られたメッセージ作品を掲示したり、ホームページで紹介しています。

一足早いクリスマスプレゼントが届き、それぞれの学部では写真入りのお礼状づくりに取り組んでいます。

尼崎養護学校の皆さんへ

57年前、1つの風船から始まった尼崎養護学校と上田東高校の交流が今年もできることたいへん嬉しく思います。

400kmも遠く離れた2つの学校が「林檎の定期便を通して繋がっていること」また

「時に特別な経験を共有すること」

そんな繋がりがいつまでも続くことを願っています。

上田東高校生徒会一同

2学期を振り返って 個別の授業で

尼養に入学してからの目標が『電動車いすに乗る』ということでした。初めて乗ることになったときに、夢が叶ったと思いました。いい目標をくれた尼崎養護学校でした。

そして今の目標は『電動車いすで出かける』ことです。西宮ガーデンズにペンを買に行けるように、いずれはなりたいです。2学期は友達の表情を見て、何が言いたいのか、わかってあげられるようになりたいと思っています。(高等部2年 女子生徒)

こんな言葉があります。

「できること」が増えるより、
「楽しめること」が増えるのが、
いい人生。

斎藤茂太

これを作られた斎藤茂太さんは、この言葉を次のように解説されています。

『人生、長く生きると、人の価値は「何ができるか」ではなく、「何を楽しめるか」にかかっているのだとわかってくる。あらゆることに楽しみを見つけることは、人間だけに許された生の醍醐味なのである。』

私は斎藤さんの言葉をこのようにとらえました。人生努力と経験を重ねるうちに、「できること」はたくさん増えてくるものです。しかし、「できること」が「楽しめること」にうまく結びついているかどうかは疑問です。

私たちは自分の生活を豊かにするために「できること」を増やす努力をしています。電動車いすに乗るといのは移動の手段です。しかし、自分の移動手段を獲得することによって、買い物に行く楽しみができる。そのためには、より安全な操作や多くの人とのコミュニケーションのとれる力を身につけようと頑張る。このように「できること」が「楽しみ」に結びつくように学校と家庭、そして本人が取り組める流れを大切しなければならないと感じています。

良い年をお迎え下さい

2学期も駆け足で過ぎ去っていきました。日々の教育活動にご協力いただきありがとうございました。

新年という節目を迎える時です。子どもと一緒に大切な時間をお過ごし下さい。

3学期は1月8日からスタートです。

本校の校務員が新年に向け、児童生徒を迎えるための飾りものを作っています。お楽しみに...

では、良いお年をお迎え下さい。

